

# 令和元年度 政策づくり塾

## 第1回活動報告 (開塾式)

5月10日に、第8期目となる政策づくり塾を市民塾生4名・職員塾生4名の合計8名でスタートしました。多々見市長の挨拶に始まり、窪田塾長による講義、グループディスカッションなどを行いました。政策づくり塾は、来年2月下旬まで11回程度の活動を予定しています。

### 市長挨拶(要旨)

- ◆まちづくりは市役所だけで行えるものではなく、地元の事業所や市民と協働しながら進めていく必要がある。この政策づくり塾のような、市民参加型の取組を進めていきたい。
- ◆市の予算のうち、8割は国や府と協働して行う事業に充当される。それらを除く約2割の部分で、いかに独自性をもった事業を行えるのかが重要になる。舞鶴市の良い部分を磨き、弱点をいかに是正していくのかを検討し、舞鶴市の特徴を最大限に活かしたまちづくりができるようにしていきたいと思う。
- ◆昔は10年かかって変化していたことが今では1、2年で変化してしまうほど現在の時代の流れが速くなってきた。その流れに適応するには、市役所単独で事業を進めるのではなく、民間事業者と一緒に様々な取組を進めていく必要がある。
- ◆塾生には塾活動を通じて、自分たちに何ができるのか、それらを実現させるためにどのように物事を進めていけばよいのかを学んでほしい。加えて市の現状を把握し、広い視野をもって物事を考えられるような力を身につけてほしい。



▲市長と一緒に記念撮影

### 窪田塾長講義～政策づくり入門～

#### ◆講義内容

- ・行政の「政策」とは、地域に必要なだが自然には手に入らず、民間企業等では供給されないものを供給すること。
- ・必要性を厳しく見極めること、予算(税金)をなるべく使わないこと、効率性を考える(人員、時間を使わない)ことが重要。
- ・民間とは異なり効果は調査しないと分からないので、政策の有効性をしっかりと調査し、客観的に評価することが必要。
- ・政策づくり塾では地域公共活動を実践するが、活動に当たっては、民間・公共の部門を超えたネットワークが必要で、市民塾生と職員塾生が力を合わせてグループワークに取り組むことが重要。



▲講義を行う窪田塾長

### グループディスカッション

「舞鶴市の良いところ」をテーマに、2つのグループに分かれてディスカッションし発表を行いました。短い時間の中、それぞれ初対面で緊張しながらも「豊かな自然や美しい景色がある」「(電車の)通勤ラッシュの苦しさがない」「おいしい地場産品がたくさんある」などの意見が出ました。今後、グループワークを進め、政策を企画・立案し、実践していきます。



▲発表の様子

### 第2回活動

5月31日(金)18:15～20:15 舞鶴市役所 612会議室  
内容:「第7次総合計画について」ほか講義